

開腹胆嚢摘出術を受けられるID: 様へ

パスコード:08011 世代:3

発行日:1900/01/00

経過 月日	入院日 ~	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2~6日目	術後7日目 退院
達成目標	手術に必要な準備ができる	不安なく落ち着いて手術を受けることができる		術後の安静を守ることができる 症状や苦痛の有無を表出できる	看護師とともに歩けることができる 症状や苦痛の有無を表出できる	傷の痛みのコントロールが行え、日常生活を支障なく行うことができる 退院後の注意点が理解出来る	
治療				酸素吸入を行います 心電図を付けます 翌朝まで頻回に全身状態の観察を行います	酸素吸入と心電図を外します 傷の状態をみます		<div style="background-color: yellow; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>退院後このような症状が出たら受診して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> 38 以上の発熱 傷が赤い 今までにないような激しい腹痛 便秘がつづく 2ヶ月ほど経っても下痢が治まらない <p>その他日常生活について 退院後～デスクワーク 立ち仕事 3週間目～力仕事 上記は目安ですので、医師に相談して下さい。スポーツに関しても、医師に相談して下さい。</p> </div>
処置		おへその処置をします 下肢の測定をします 爪きり、ひげそりをして下さい マニキュアはおとして下さい 指輪を外して下さい	静脈血栓予防のストッキングをはきます 入れ歯、時計、指輪、ピンなど外して下さい			術後2日目に傷のテープを外します	
点滴				点滴は手術室でします	食事が開始され、半分以上摂取できれば点滴が抜けます		
検査					採血があります	術後2日目に採血があります	
食事		夕食以後、食事はできません 19時よりOS-1、水、お茶のみ摂取可です	食事はできません 水分摂取は()時までです	食事はできません 医師に確認後水分摂取ができます (看護師より説明があります)	昼から食事(5分粥)が始まります	全粥食になります(米食に変更が可能です) 脂肪分のとりすぎは下痢になる可能性があるため、お控え下さい 脂肪分は、2~3週間かけて徐々に増やすようにして下さい	
くすり	持参薬の確認をします		持参されたお薬は、医師の指示がない限り内服しないで下さい (看護師より説明があります)		内服薬の再開の予定です (看護師より説明があります)		
活動・安静度	特に制限はありません			手術後はベット上で安静にして下さい 床ずれ予防のため体の向きを変えるお手伝いをします	手術後初めて歩く時、看護師が付き添います 歩行ができます	制限はありません	
清潔	通常通り入浴してください	おへその処置後入浴してください			蒸しタオルで体を拭きます	傷の状態が問題なければシャワーをあびれます	
排泄				手術室で尿の管を入れます	午前中に、尿の管を抜きます その後、トイレに行けます	トイレに行けます	
患者様及び家族への説明	お名前確認のため、ネームバンドを付けます 手術前後の流れについて看護師より説明します 手術の同意書を看護師に渡して下さい 手術に際して準備していただく物 テープ式紙オムツ1枚 吸い飲みか先の曲がるストロー、コップ ビニール袋2枚(寝衣と靴を入れます)	手術までに看護師より呼吸の方法やうがいの仕方の説明があります 手術までに看護師より準備物品の確認があります 手術室看護師の訪問があります	手術は()からの予定です。なお、他の手術の進行具合により時間が変更になることがあります	主治医よりご家族に手術内容についての説明があります 手術前に説明した、呼吸法やうがいのお手伝いします 痛みのあるときは我慢をせずにナースコールでお知らせ下さい	痛みのあるときはお知らせ下さい	痛みのあるときはお知らせ下さい 退院後の生活について看護師より説明があります	10時頃退院となります
	わからない点や質問があれば遠慮なく看護師にお尋ね下さい						

注)この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。